

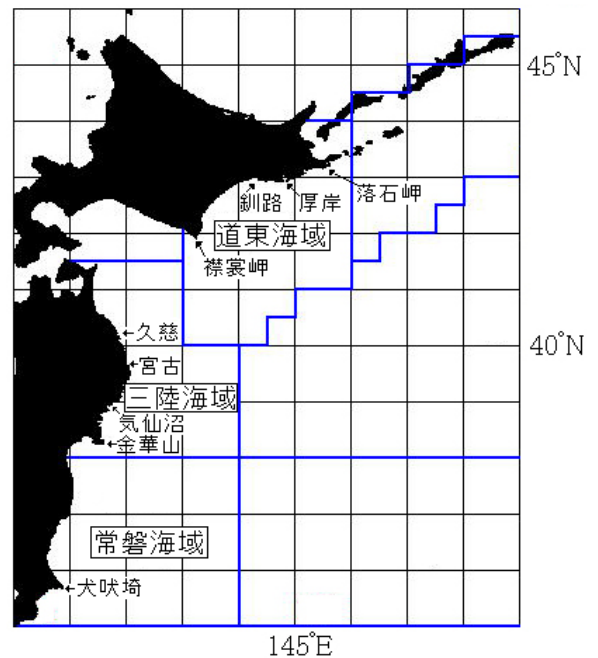
平成27年度 第9回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2015年12月上旬～12月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域は終漁。
- ・三陸海域では、来遊量は減少して来遊は断続的となり、12月上旬で終漁となる。
- ・常磐海域では、来遊量は減少する。12月上旬は低位水準となり、12月中旬は断続的となる。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁海況部
担当：渡邊、松尾
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

国立研究開発法人水産総合研究センター
当資料のホームページ掲載先URL
<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

平成27年度 第9回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2015年12月上旬から12月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

来遊量は少なく、終漁。

(2) 漁場

漁場は形成されない。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

来遊量は減少し、12月上旬は断続的となり、終漁となる。

(2) 漁場

12月上旬は、三陸南部が漁場となる。12月中旬～下旬は、漁場は形成されない。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

12月上旬は低位水準で、来遊量は減少する。12月中旬は断続的となり、終漁となる。

(2) 漁場

12月上旬は常磐北部～南部、12月中旬は常磐南部が漁場となる。12月下旬は、漁場は形成されない。

2. 予測の概要

海 域		12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量			
	動向			
	漁 場			
三陸海域	来遊量	— →		
	動向	断続的		
	漁 場	南部		
常磐海域	来遊量	↘	— →	
	動向	低位減少	断続的	
	漁 場	北部～南部	南部	

3. 漁況の経過概要（11月中旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

来遊量は少なく、漁場は形成されなかった。道東海域よりも南側（三陸海域よりも東側）における来遊量の水準は、前旬を下回った。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、道東海域よりも南側における来遊量は、期半ばに減少した。

(2) 漁場

道東海域では、漁場は形成されなかった。

道東海域よりも南側の落石南東～南南東沖の240～300海里（宮古東260～340海里）付近（9～14℃）では、大型船3～60隻程度と小型船数隻～10隻程度操業した。大型船は0.5～67トン、小型船は15～40トン漁獲した。

(3) 魚体

道東海域よりも南側の落石南東～南南東沖の240～300海里付近では、体長29～30cmモードの大型魚主体で、体長26cmモードの中型魚が5割弱混じる群もあった。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

来遊量は少なく、漁場は形成されなかった。

(2) 漁場

三陸海域では、漁場は形成されなかった。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した常磐海域における来遊量の水準は、前旬および前年を下回り、低位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、常磐海域は期前半に来遊量が減少したが、期後半は増加した。

(2) 漁場

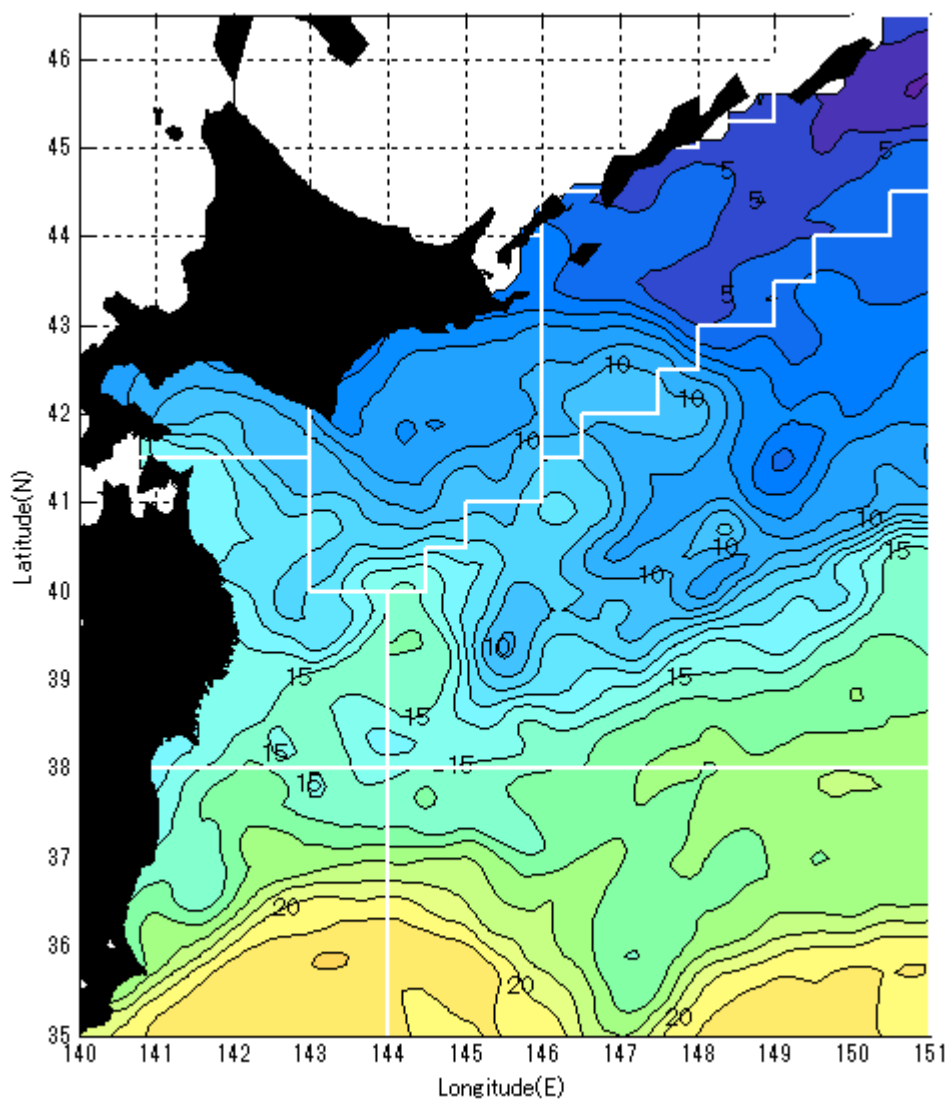
常磐海域では、小名浜～那珂湊沖が漁場となった。小名浜東15海里～那珂湊東沖の20～60海里付近（16～19℃）では、大型船が5～30隻程度と小型船が多数操業した。大型船で0.3～88トン、小型船で1～30トン程度漁獲した。

(3) 魚体

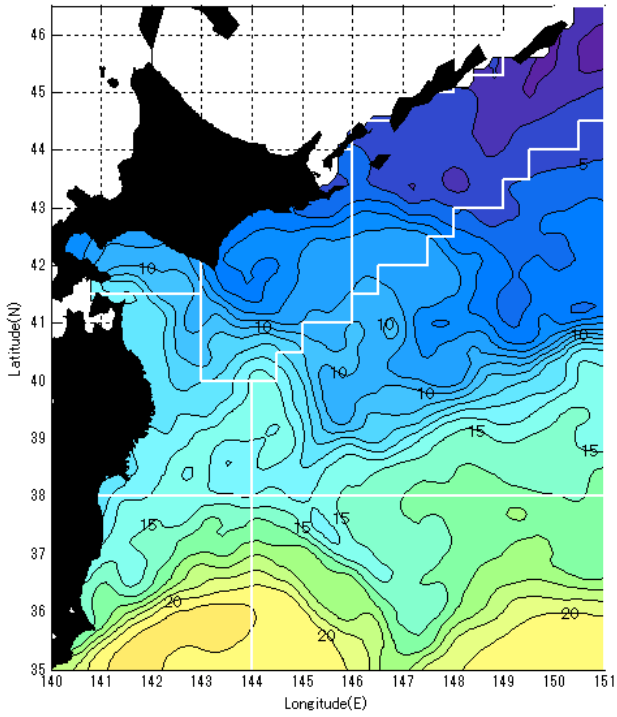
常磐海域では、体長29～30cmモードの大型魚主体で、体長26cmモードの中型魚が2割程度混じった。大型魚は体重110～120g主体であった。

4. 予測水温分布図

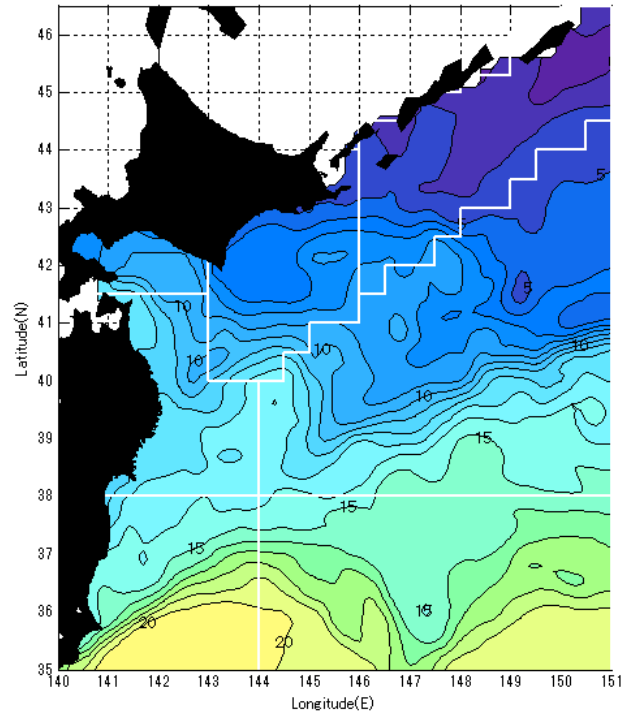
12月上旬予測表面水温分布図



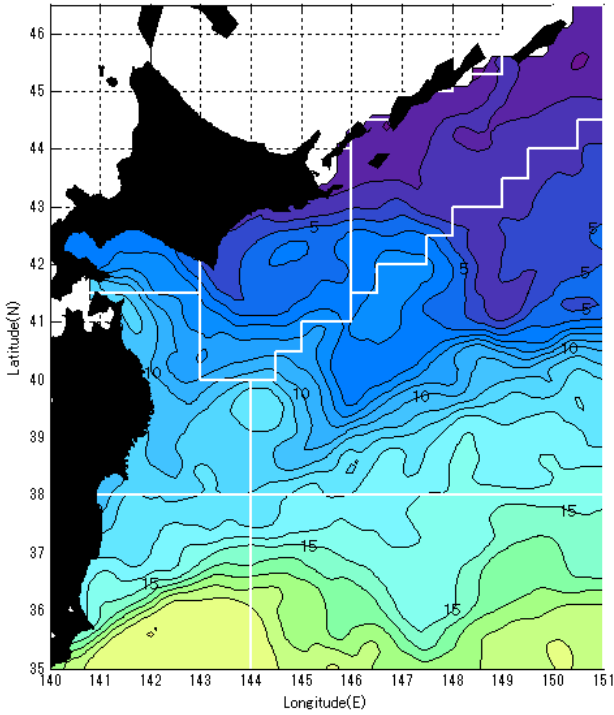
12月中旬予測表面水温分布図



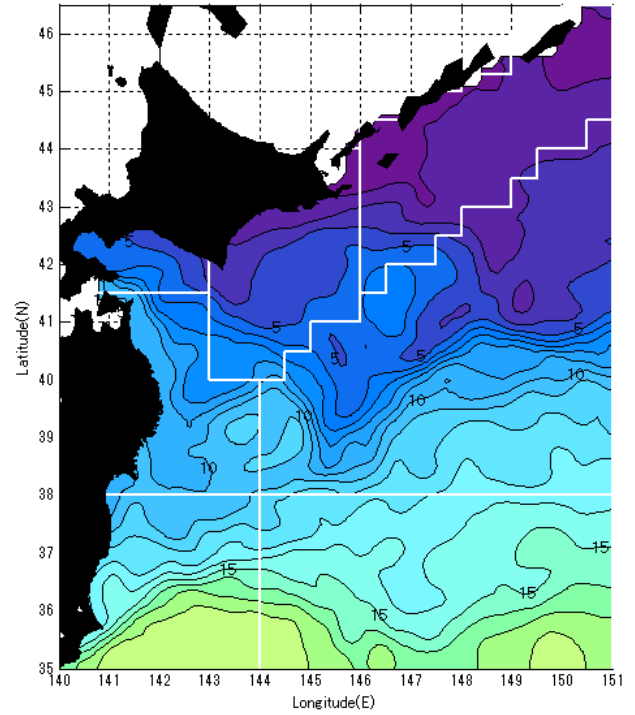
12月下旬予測表面水温分布図



1月上旬予測表面水温分布図



1月中旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
---	--